

チームまえばし 保育サポート事業

「ともに寄り添い、(幼児教育の) 充実と向上をめざしたい」思いをこめて、通称を設定しました

幼児教育アドバイザーによる出前相談・研修をご活用ください

様々な知識や経験を有する 15 名の幼児教育アドバイザーが、市内の幼稚園、保育所(園)、認定こども園、小学校等(以下、園所等)を訪問し、相談や研修を行う『出前相談・研修』を実施しています。保育に関することはもちろん、各種講演会や研修会、園(所)内研修、保育者・保護者相談など様々な機会を活用していただければと思います。

出前相談・研修

幼児教育アドバイザーが園所等を訪問して、保育や研修、保護者会等のお手伝いをします
(具体的な活用例)

- 校園所内研修への助言・講話
- 気になる子についての相談
- 保育等に関するアドバイスや相談
- 保護者会等での講話
- 保幼小連携地区ブロック研修会での助言

幼児教育アドバイザー(15名)

あいうえお順 平成 29 年度

- 1 井上 昭子 子育てネットワーク「ゆるいく」主催
- 2 稲塚 由里 子育て経験者
- 3 今井寿美枝 チャイルドハウスゆうゆう施設長
- 4 梅津 慶子 幼稚園長・小学校長経験者
- 5 大島みずき 群馬大学講師
- 6 奥野みどり 群馬パース大学講師 臨床発達心理士
- 7 鎌田 文子 幼稚園長・小学校長経験者
- 8 毛塚恵美子 臨床発達心理士 発達相談員
- 9 小和田あゆみ 言語聴覚士 臨床発達心理士
- 10 関谷祐貴子 小学校(通級指導教室)経験者
- 11 田胡 敏子 市子育て支援課家庭児童相談係専門員 保育所長経験者
- 12 田子 文子 群馬パース大学福祉専門学校講師 幼稚園長経験者
- 13 田中 輝幸 群馬医療福祉大学准教授 保育士経験者
- 14 横坂 好枝 明和学園短期大学教授 幼稚園長経験者
- 15 渡邊 俊 幼稚園副園長・小学校長経験者



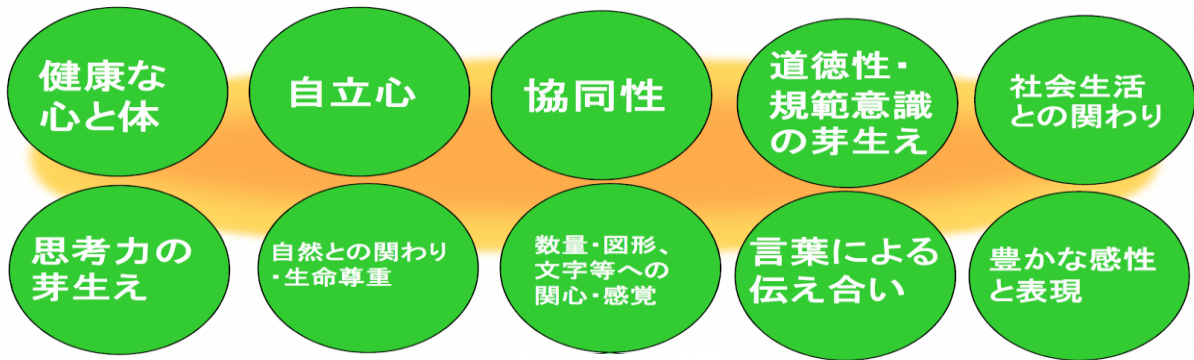
申込方法

- 1 まずは、担当まで電話でご連絡ください。(幼児教育センター TEL 027-210-1221)
- 2 申込書を提出してください。

申込書の様式は、総合教育プラザ 幼児教育センターWebページをご覧ください。

<http://www.city.maebashi.gunma.jp/kurashi/230/257/006/p003237.html>

または、幼児教育センターに直接お問い合わせください。

**健康な心と体** 心と体の密接なつながりに配慮

・【幼稚園生活】【保育所の生活】【幼保連携型認定こども園における生活】の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。

自立心 「学びに向かう力」に直結する部分

・身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。

協同性 完成度ではなく、先の目的の具体化から

・友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。

道徳性・規範意識の芽生え 思いやりとルールの理解を核に

・友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したり、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。

社会生活との関わり 生活に関係の深い情報や施設などに興味や関心をもつように

・家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また、幼稚園内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。

思考力の芽生え 新しい考えを生み出す喜びや楽しさを味わわせるように

・身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。

自然との関わり・生命尊重 子どもの心が安らぎ、豊かな感情、好奇心、思考力、表現力の基礎が培われるように

・自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることを覚えるようになる。

数量・図形、文字等への関心・感覚 日常の園環境で接しながら、次第になじんでいくように

・遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。

言葉による伝え合い 保護者の仲介や子どもと保育者の対話を大切に

・【先生】【保育士等】【保育教諭等】や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。

豊かな感性と表現 子ども自身の表現しようとする意欲を受け止めるように

・心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。